
大乱闘スマッシュブラザーズX ~ヘルパー軍の逆襲~

ピノ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大乱闘スマッシュブラザーズX ～ヘルパー軍の逆襲～

【Nコード】

N3241Z

【作者名】

ピノ

【あらすじ】

ここはスマッシュブラザーズの世界。

今日もファイター達は大乱闘。

そしてそのためのアイテムを作るマスターハンドだったが、作っていたアシストフィギュアの中身のキャラクターがファイターになりたいが為にフィギュアにならず逃げ出してしまっ！！

この小説は一作目に比べると読みやすいです!!
沢山のコメントがあると嬉しいです>・<

では是非読んでください!!お願いします^^

序章 く闘争心の逃走心く（前書き）

時間が許すならお付き合い下さると嬉しいです^^

序章 く闘争心の逃走心く

ここは創造神マスターハンドが支配する世界。
皆も良く知る『スマッシュブラザーズ』の世界だ。

選ばれたファイター達が乱闘を繰り広げ、己の強さを磨き、競い合う世界だ。

その世界で今、ある者達によって事件が起きようとしていた・・・。

マスターハンド

「ふう・・・、これで今日の乱闘はすべて終わったな。明日の乱闘

に備えてアイテムの補充をして置くとするか．．．。」

大乱闘スマッシュブラザーズの世界ではアイテムの補充はマスターハンドの仕事だ。マスターハンドはただ自分の仕事をしただけだった筈だ．．．。

Mハンド

「今回はアシストフィギュアの消耗が激しいな。重点的に補充しよう。」

そしてMハンドはアシストフィギュアを沢山作ることにした。

アシストフィギュアの作り方は少し複雑だ。

- ? 中に入るキャラクターを作り上げる
- ? 作り上げたキャラクターにアイテムとしての意識を持たせる
- ? フィギュアに封印する
- ? 中のキャラクターが弱らないように不思議な力をこめる
- ? 中身を見えないように加工して出来上がり。

Mハンドはいつもの工程通りに、まずのアシストキャラクターを作り上げた。

作り上げたキャラクターは以下の通りだ。

- ・アンドルフ
- ・エキサイトバイク
- ・カット&アナ
- ・くるり&ラセンダー8
- ・サキ・アマミヤ
- ・サムライ・ゴロー
- ・ジエフ
- ・ジュゲム
- ・スタフィー
- ・チンクル
- ・デビル
- ・ドクターライト
- ・ナツクルジヨウ
- ・ラブラドル・レトリバー
- ・ハンマーブロス
- ・ヘリリン
- ・メトロイド
- ・リセットさん
- ・リトルマツク
- ・リン
- ・ワルイージ
- ・レイMk?
- ・ロビン
- ・センシャ&ホヘイ
- ・バーバラ
- ・シャドウ
- ・サイボーグ忍者

Mハンド

「ふう、出来上がったな。」

いくら無限の力を持つMハンドでも大量のキャラを作るのは少しは疲れるようだ。

Mハンド

「さて、次の工程へ移ろう。」

Mハンドは次の工程に移ろうとした。次の工程とはこのキャラ達にアイテムとしての意識を持たせることだ。だが・・・

ワルイージ

「おい！！俺らって何でアイテムなんだよ！！ワリオだってファイターとして出てるんだから俺らもファイターとして出してくれたい良いじゃねえかよ！！」

まだアイテムとしての意識が薄いワルイージがMハンドに『俺もファイターが良い』と文句をつけた。だがこんなのいつもの事だ。大半のキャラは作り上げたときは文句を言うもの。Mハンドは無視してアイテムの意識を持たせようとした。だが・・・

ナックルジョー

「たしかにこのヒョロヒョロのおっさんの言う通りだぜ？俺達も一つ無制限に暴れたいぜ！」

サイボーグ忍者

「俺に生きる実感をくれ！」

ジェフ

「僕も時折ネスを羨ましく思うよ……。争いは好きじゃないけどこの世界に居るからにはファイターとして戦ってみたいな。」

リセットさん

「ワシはアイテムで登場したときも言ってることやで！」

今回は一気に沢山のキャラを作り上げたため皆が一斉に文句を言い出したのだ。

Mハンド

「悪いが無理だ。世界のバランスを保つためだ。悪く思わないでくれ。」

Mハンドは適当になだめ、アイテムとしての意識を持たせようとした。だが、

ワルイージ

「嫌と言ったら嫌だぜ！！こうなったら自力でファイターにのし上

「がつてやるぜー!!」

Mハンド

「無駄なことはやめて大人しくアイテムになれ。」

ワルイージたちのわがままにマスターハンドも少々イライラしていた。そして……!!

リトルマック

「問答無用だ!!こっとなつたら皆で逃げるぞー!!」

フィギュア達

「オーーーーー!!!!」

なんとリトルマックの一言でファイターになる為の皆が逃げ出してしまうた!!

Mハンド

「おい!待て!!おい!!!!」

マスターハンドは散り散りに逃げるキャラ達を追いかけたがすばしっこく中々つかまらない。

シャドウ

「カオスコントロール!!!
……よし!!! 奴の動きが遅くな
った!!! 今のうちだ!!!」

シャドウのカオスコントロールがMハンドに決まり、マスターハン
ドは追い回すことも出来なくなってしまった。そしてフィギュア
達はそのまま逃げ出してしまった……。

Mハンド

「おのれ!!! はやくつかまえて
わ~~~~」。

序章 く闘争心の逃走心く（後書き）

どんどん連載していきたいです^^

コメントを下さるとありがたいです

引き続き応援よろしく願いします^^

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3241z/>

大乱闘スマッシュブラザーズX ~ヘルパー軍の逆襲~

2011年12月11日06時00分発行